

カスリーン台風が大暴れ！

堤防決壊現場と遊水地を訪ねる

利根川(栗橋)・渡良瀬遊水地見学会



昭和22年(1947年)9月 カスリーン台風が引き起こした氾濫



渡良瀬遊水地(平成15年航空写真)

昭和22年(1947年)9月におそったカスリーン台風が引き起こした氾濫は、たいへん大きな被害をもたらしました。利根川の堤防が、9月16日に埼玉県北埼玉郡東村と川辺村(現加須市)で決壊して、その付近だけでなく東京(葛飾区や江戸川区)までを大洪水にし、大変な被害が発生しました。今回は、その決壊現場を訪ね、洪水の歴史を振り返り、今迫り来る大水害の危機をどのように回避していけばいいのか、皆さんで考えましょう。

また、車中では江東デルタと言われる江戸川区・葛飾区・江東区などのゼロメートル地帯の洪水の驚異と、荒川や中川の堤防の関係を明らかにします。下記のとおり実施しますので多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時 11月23日(水) **勤労感謝の日** 8:30集合

集合場所 JR新小岩駅 東北広場(裏面地図参照)

参加費 1,000円(資料、交通費、保険料の一部として)

募集人数 45名(先着順) boumatijyuku@yahoo.co.jp 携帯 080-4006-8819

FAX 043-274-8151

行程 8:30 出発(集合次第出発します)

10:30 カスリーン台風 堤防決壊現場見学

12:00 新川通水防センター 各自昼食

13:00 渡良瀬遊水地 見学

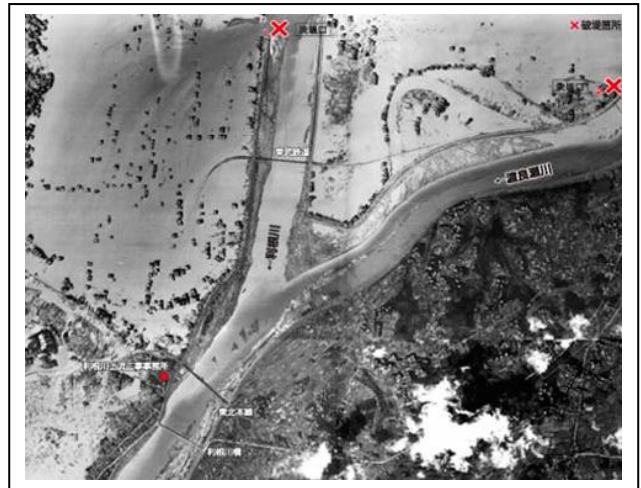
15:00 道の駅 庄和 新鮮野菜購入

18:00 JR新小岩駅 東北広場 到着(道路状況により流動的です。)

カスリーン台風（昭和22年）

1947年9月16日午前零時20分、北埼玉郡東村（大利根町）新川通地先で、濁流に洗われていた利根川右岸堤防（写真中央上）が幅約340mにわたり大決壊。東村での利根川決壊とほぼ同時刻の同日午前零時15分、渡良瀬川堤防が川辺村（現・北川辺町）三国橋付近（写真右上）で延長約380mにわたり決壊。堤防を崩した濁流は、埼玉県東部低地を東遷以前の利根川の流れのように流れ下り、東京東部低地（葛飾区、足立区、江戸川各区）までも水没させました。

※大利根町は平成22年3月に合併し加須市になっています。



渡良瀬遊水地

治水機能：洪水時に渡良瀬川、思川、巴波川の合流量全量を一時的に遊水地内に貯留することにより、周辺を洪水による洪水氾濫から防御すると共に、利根川本川（栗橋地点）の計画高水流量に影響を与えないこととしています。

新小岩駅東北広場案内図



集合場所

JR新小岩駅北口から北口連絡通路を渡って、ロータリー広場にお集まりください。

